

JINS MEME が経済産業省「Innovative Technologies2014」審査員特別賞を受賞

「先端技術×デザイン」の融合を実現した次世代インターフェースとして高い期待と評価を獲得

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁）から 2015 年春に発売予定のセンシング・アイウェア「JINS MEME」（ジンス・ミーム）が、9 月 16 日（火）に日本の優れたコンテンツ技術を発掘・評価する経済産業省「Innovative Technologies 2014」の採択技術の一つに選出されました。さらに、10 月 23 日（木）に東京・お台場にある日本科学未来館で開催された「デジタルコンテンツ EXPO2014」の特別賞選考会において、全 20 件の採択技術の中から、特にライフサイエンス分野への波及・応用の可能性が高い技術を表彰する「Human 部門」の審査員特別賞を受賞いたしました。（<http://www.dcxpo.jp/8638>）



「真に実用的なウェアラブル」として産業波及効果に高い期待

審査では、人体の認知情報の約 9 割を占める眼や頭のデータ（Deep data）の潜在的価値に着目し、産学連携の技術開発により「メガネ」という普遍的なプラットフォームを維持しながらこれらデータの常時センシングを実現した「先端技術とデザインの融合」を高く評価。ウェアラブルという次世代のインターフェース普及の後押しとなる「真に実用的なプロダクト」として、ライフサイエンス分野への波及・応用が期待される技術を選出する「Human」部門の特別審査員賞を受賞しました。

産学共同研究で広がる JINS MEME の可能性

「目は口ほどにものを言う」という諺にも例えられるように、眼は膨大なデータを保有しています。それらを有効的に活用することで、医療や教育やマーケティングなど、様々な分野での応用が期待されています。ドライブ分野ではすでに、株式会社デンソーおよび慶應義塾大学メディアデザイン研究科と共に、眼電位センシングを用いた次世代の運転サポート技術に関する研究を進めています。今後もあらゆる分野において産学共同体制で JINS MEME の可能性を追求してまいります。

世界初、「三点式眼電位センサー」搭載のアイウェア

JINS MEME は「自分を見る」をコンセプトに、世界で初めて三点式眼電位センサーをメガネに搭載したセンシング・アイウェアです。人の眼は電荷を帯びており眼球運動に伴い電位差（眼電位）が生じます。JINS MEME では鼻パッドと眉間の三点での眼電位センシングを実現、八方向の視線移動と瞬目（まばたき）をリアルタイムでセンシングします。これにより、眼や頭の動きから得られる豊富な情報をもとに様々なアプリケーションとの連動を通じて、普段の疲れ度合いや眠気度合いの把握や活動量測定などが可能となります。

《Innovative Technologies とは》

コンテンツ産業の発展に大きく貢献することが期待される技術を表彰する事業です。経済産業省が主催するもので、技術戦略マップ 2012（コンテンツ分野）で示されている技術開発の方向性に基づき、他産業への応用や新市場創出の可能性のある先進的な技術を発掘・評価し、産学連携の場での共有と社会への発信を行うことで、日本におけるコンテンツ技術の未来を描くことを目的としています。2014 年は、企業や大学研究機関等からの応募総数 53 件から、著名な審査委員による厳正な審査を経て 20 件の優れたコンテンツ技術を採択。採択技術はコ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）2014 のオフィシャルイベントとして 10 月 23 日（木）～26 日（日）に開催される「デジタルコンテンツ EXPO2014」（<http://www.dcxpo.jp/>）の会場に展示されます。

Innovative Technologies

当リリースに関するお問合せ先

(株) ジェイアイエヌ 広報担当 渡辺・官野
TEL : 03-5275-7401 / FAX : 03-5275-7402 / Mail to : pr@jin-co.com

【参考情報】

JINS MEME に期待される応用分野

人体の認知情報の 9 割近くを占める眼や頭部の動きからとれる生体データは、Deep Data と呼ぶにふさわしい様々な価値を秘めており、医療からマーケティングまで様々な応用が期待されます。

オフィスにおける疲れや集中度のマネジメント・ツールとしての応用

「JINS MEME」では、検出した眼の動きのパターンを独自のアルゴリズムに基づき、オフィス作業時の「疲れ」や「集中度」を可視化することができます。スマートフォンアプリケーションなどを通じて、オフィスなどでの効率的な働き方をサポートするマネジメント・ツールとしての活用が期待されます。

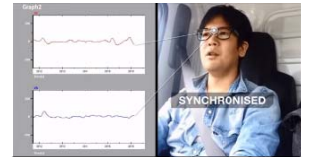


参考動画

<http://www.youtube.com/watch?v=6jXjpteelhw>

ドライブ時の安全運転サポート技術としての応用

眠気が増すとドライバーの眼は特有の動きを示します。JINS MEME では、芝浦工業大学・加納慎一郎先生との共同研究をすすめ独自のアルゴリズムを構築。ドライバーの眠気の兆候を事前に察知し、アラートする機能の構築を目指しています。また、自動車部品のトップサプライヤーである株式会社デンソーと慶應技術大学大学院メディアデザイン研究科との産学共同研究を通じて、JINS MEME を活用した次世代の安全運転サポート技術の開発を進めています。



参考動画

<https://www.youtube.com/watch?v=KeX6Wi4AlHQ&index=2&list=UUKs1fDW7UrrrGIWzQIoFsOw>



スポーツ・フィットネス分野への応用

六軸（加速度・角速度）センサーによりキャッチした頭部の動きを専用のアプリケーションで分析する事によりランニングや歩行中の体の傾きやブレをリアルタイムに把握。従来のリストバンド型ウェアラブルでは実現が難しかった体軸や体幹など「動きの質」を意識したトレーニングが可能となり、フィットネス分野での活用が期待されます。

先制医療・ヘルスケア分野への応用

眼や体の動きの変化や異常を検知解析することで、認知症や精神病、さらには整形外科領域や成人疾患などの分野で発生する様々な病気の兆候を察知し、早期の診断・治療へと繋げる「先制医療」領域での活用が期待されます。

ライフログ・マーケティング分析などへの応用

視線移動や瞬きの微細な動き、さらに「うなずき」など頭部の動きは、人間の興味関心の推移を物語るデータとして、心理学やマーケティング分野への応用が期待されます。また、自身の興味関心の推移をアプリケーションなどを通じて記録することで「これまで気づかなかった自分」を知ることのできるライフログツールとしての活用なども考えられます。

ゲーム・エンターテインメント分野への応用

眼や頭の動きをインプット信号として活用する事により、コントロールデバイスとしての活用も可能となります。主にゲームやエンターテインメント分野での活用が期待されます。



参考動画

<https://www.youtube.com/watch?v=y-9ObtBZNWQ&list=UUKs1fDW7UrrrGIWzQIoFsOw>

産学協同技術開発

様々な学術分野において JINS MEME を活用した産学共同研究が進んでいます。



東北大学
加齢医学研究所
川島 隆太 教授
三点式眼電位センサー技術
の研究



芝浦工業大学
工学部電子工学科
加納 慎一郎 先生
三点式眼電位センサー技術および
眼電位センシングによる眠気
判定技術の研究



東北大学
加齢医学研究所
脳機能開発研究分野非常勤講師
中川 誠秀 先生
眼電位センシングによる疲労判
定技術の研究



慶應義塾大学
医学部
橋本 健史 先生
六軸センサーを用いた頭部セン
シングによる体の動きの判定技
術の研究



慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科
稲見 昌彦 先生
眼電位センシングを利用した応
用技術の研究